



- ・ 一戸建とアパートでは、ごみの中身が異なっている。特徴的なものとして、資源ごみはアパートが16.8ポイント多く、生ごみなどは一戸建が12.3ポイント多くなっている。
- ・ 個別にみていくと、雑紙、プラスチック類の比率がアパートで高くなっている。一戸建の方が「分別」が進んでいると言える。また、未利用食品などの「食品ロス」はアパートが2倍以上多く、逆に、「調理くず」は一戸建のほうが3倍以上となっている。アパートでは、調理されるより、弁当類が多いと思われる。
- ・ 今回、コロナウイルス感染症の影響で「マスク・ティッシュ」が、一戸建・アパートともに一定量が確認された。(その他可燃物に分類している)